



SSKP

はばただより

vol.138

社会福祉法人おおぞら会

おおぞら会
20周年記念式典



11月10日(土) 三鷹市中近東文化センターにて、おおぞら会20周年の記念式典を執り行いました。当日は、三鷹・武蔵野両市長をはじめ、各市の市議会議員の皆様、関係団体の理事様等々、たくさんの方々にご列席いただき、温かいお言葉を頂戴いたしました。

また、法人設立に尽力し現在の土台をつくった当時の施設長や理事、職員たちの懐かしい顔も揃い、当時を知らない世代との交流にもなり、とても感慨深い会となりました。

懇親会では、おおぞら会バンドとして法人各事業所の職員、そして利用者のボーカルで素敵な歌を披露。法人みんなで企画した手づくりのおおぞら会らしい記念式典となりました。

お越しいただいた皆様、法人設立20周年記念事業に際しご寄付をいただきました皆様に、あらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

新しい10年に向かって

社会福祉法人おおぞら会
理事長 西原 雄次郎

社会福祉法人おおぞら会に関わって下さっている多くの皆様、今年も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年はおおぞら会創立20周年の年でした。皆様のご協力を得て、記念式典や作品展を開催し、職員の全体研修や永年勤続表彰等々、実行委員会の皆様のアイデアと入念な準備を経て一つ一つの行事を無事終えることが出来ました。そして次の10年、20年に向かっての歩みを始めております。ご協力、本当にありがとうございました。

また昨年は、おおぞら会にとって最初のグループホームであった「つなぐ仲間の家」を、家主様のご厚意を得て法人所有とすることが出来ました。また念願であった、より丁寧な支援が必要な方々が暮らせる新しいグループホーム「つむぎの家」を開設することも出来ました。誰もが、地域での暮らしを継続出来るように、必要な拠点整備を続ける節目の年でもあったと思います。

一方で、おおぞら会だけの問題ではないようですが、人手不足は深刻です。こんな中でも、おおぞら会では、10年以上勤務されている方々が20年以上のお二人を合わせて18人もいて下さり、このことは私たちにとって本当に誇らしいことでもあります。人手不足にも関わらず、職員の皆さんが力を合わせてそれをカバーし、一段上の実践を目指して頑張っていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、昨年は国や地方公共団体による障害者雇用率の「大幅な水増し」が表面化し、就労支援に取り組む私たちにとっても衝撃的な出来事でした。「工房 時」の利用者の皆さんが次々と民間企業で雇用されるようになり、とても喜んでいたのですが、民間企業を指導する立場にある公的機関が実は障害者雇用率を全然達成していなかったという事実、「開いた口が塞がりません」。どうぞ、先進的な取り組みをされている企業や、送り出す側の事業所での実践から学んでいただきたいと思います。国自身が定められた多くの関連法の理念を是非読み直していただきたいと思います。

おおぞら会にとって大切なことは、一にも二にも利用して下さる皆さんが、楽しい気持ちで通って来て下さり、心穏やかに一日を過ごされ、また安心して生活される、その様なプログラム、機会、場を提供し続けることだと思います。主人公は利用して下さる皆さんです。その皆さんの様々な必要に応えることに創意と工夫を重ね、これを職業として真剣に取り組んでいるのが職員の皆さんです。主人公の利用者さん達と、それをサポートする職員の皆さんが生き生きと関われる場所がおおぞら会の各事業所だと思います。そうであってほしいと思います。

利用者さんと職員の皆さんが、日々安心して活動し安心して働けるよう、その土台を盤石にする役割を担っているのが理事や評議員の役割だと思っています。課題は山積していますが、「あの頃が一番大変だったねえ」と振り返ることが出来る日がきっと来ると信じて頑張りたいと思います。

皆様、これからも、何とぞ何とぞ変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。





法人利用者・職員・来場者の皆さん…
みんなの思いをペタペタ貼って
大きなツリーが完成しました！



開催：2018.11.28～12.5 三鷹市芸術文化センターB1



法人20周年を記念して、おおぞら会の各事業所で行っている創作活動の作品や利用者の個性あふれる作品を集めて、合同展示会を行いました。

“ココロのタネ”と題した作品展。11月28日から5日間の開催でしたが、たくさんの方々に日頃の活動や利用者のいきいきした姿を感じてもらえたかなと思っています！

ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。



絵画に造形…思いのままに表現した作品たち
キャンパスからエネルギーがあふれていました！

思うままに楽しく…

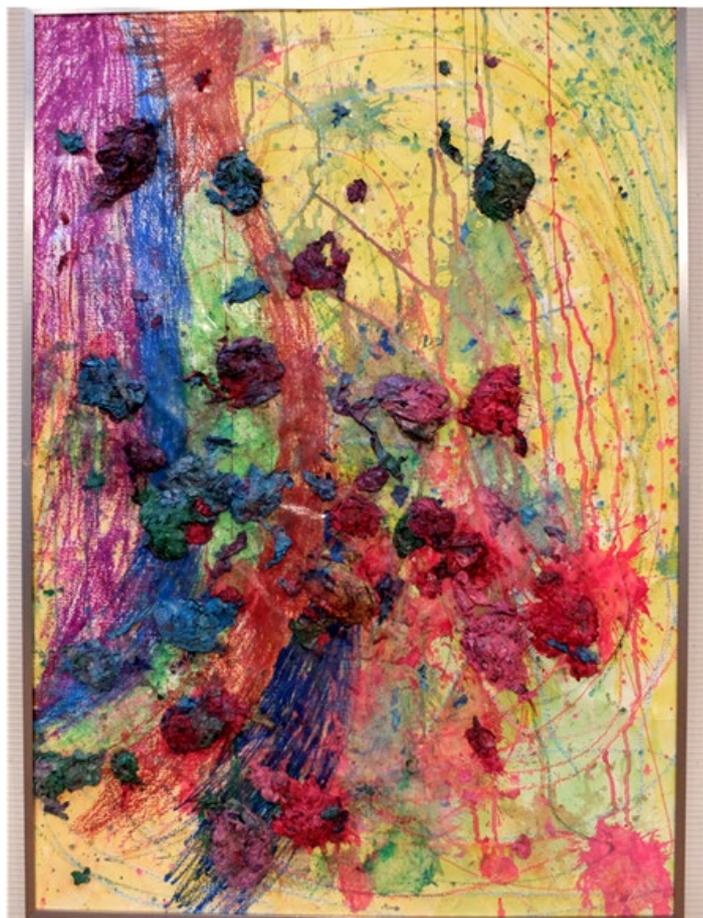
見逃したみなさまへ…作品展に出展した中から、
少しだけご紹介します！カラーはHPで！！



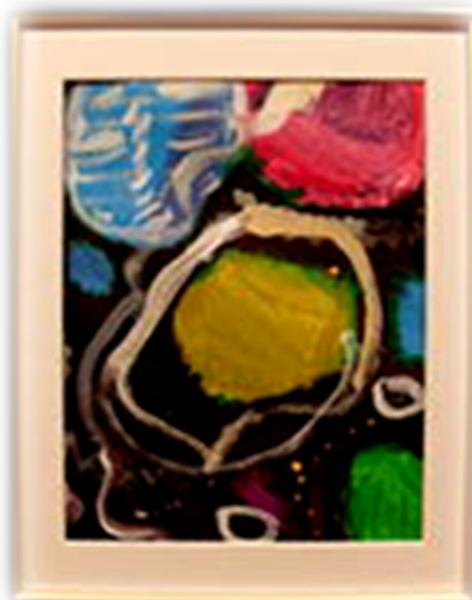
石ころアート ともだちの顔 (はばたけ利用者)



ダイナミックなチューリップ (工房時利用者)



丸めた紙をエイっと投げて…ストライク
絵を描くのは苦手でも、楽しくアート！ (あすは kids 利用者)



宇宙をイメージして… (工房時利用者)



大好きな職員！ (あすは kids 利用者)

野ざきの家…昭和ヘタイムスリップ



「野ざきの家」では、展示会の一角を“昭和の世界”へいざなう大規模なセットを制作。通ってこられる利用者は、激動の戦中戦後、高度成長期を駆け抜けてこられた方々。認知症の症状から少しずつ薄れる記憶も、懐かしい物や写真で、時に鮮明によみがえります。そんな皆さんの生きてこられた軌跡と思い出の空間をつくりたい…職員の思いを形にしました。



庭いじりが好きなのは今も昔も…

現在のお写真は、野ざきの家
の菜園にて…春には何を植えましょう？

現在支えてくださっている息子さんを抱いて…

お裁縫道具、お着物、レコードプレーヤー…
利用者みなさんが実際に使っていたものをお借り
して展示しました。



あったかい雰囲気のおおぞら会らしい
展示会となった「ココロのタネ」。
またいつか開催できたら…と思っています。
その時にはまた、ぜひご来場お待ちしております！

はじめまして…「つむぎの家」です。

おおぞら会三つ目のグループホーム「つむぎの家」が11月から始動しました。おおぞら会が法人化を目指したきっかけのひとつは“ずっと安心して暮らし続けていける地域づくり”。そのための暮らしの場づくりは、当時50代が中心の利用者ご家族にとって大きな夢でした。

そんなご家族も20年の間に当然ながら歳を重ね70～80代となり、体調を崩される方も増え、いよいよ「暮らしの場」づくりが目の前の課題となりました。「重度の子が暮らせるグループホームを作ってほしい」そんな切実な声が上がったのは5年前。法人としても既にふたつのグループホームを運営していましたが、グループホームに卒業はなく、新しい場を作らない限り新しい方を受け入れることはできません。また、既存の建物にはバリアフリー等の課題もありました。

そこで職員・家族等で実行委員会をつくり、土地探しから始めましたが、何度かの断念を繰り返し、なかなか思うように計画は進みませんでした。半ば諦めていた矢先にご縁があってオーナーの島田様やミサワホーム様との出会いがあり、ようやくこの10月に念願のホームが完成しました。このホームができなかったら、遠くの施設に行かざるを得なかったかもしれない…という方もいて、あらためて法人としてホームを持つことの意義を実感しました。

男性5名、女性5名の2ユニットとなる建物は野川の自然に囲まれて、よい環境の中にあります。近隣の皆様の温かい声にも励まされながら、入居者の方々は少しずつそれぞれの「暮らし」の一步を歩み始めました。

しかし運営は…という現実とはとても厳しく、昨今の人手不足の波を直に受けて、順風満帆とは言い難く、いろいろな人たちの応援を受けながら必死にオールを握りしめこぎ続ける毎日です。生活支援の奥深さや、暮らしの安定の大切さを伝えていきながら、一緒に頑張ってくれる支援者を増やせるように…これからいろいろ発信していきたいと思っています。

(管理者 入倉暁子)



助成をいただきました！

今回のグループホームの開設にあたり、禅林寺龍華会基金様より助成をいただき、「入浴用リフト」を購入・設置することができました。このリフトにより、利用者の座位保持と介助者の身体的な負担が軽減されます。毎日の入浴に大変役立つ備品であり、大切に使用させていただきたいと思っております。

禅林寺龍華会基金様にこの場をお借りして御礼申し上げます。



おおぞら会後援会ニュース



新しい年を迎え、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
昨年11月の法人20周年記念式典においては、多くの関係者にご出席いただき、誠にありがとうございました。おおぞら会がたくさんの人達にささえられていることを改めて感じた次第です。後援会も20年間、会員の皆様をはじめ多くの支えをいただき、法人への寄付を途切れることなく続けることができました。今年度は、新規グループホーム「つむぎの家」もスタートしました。法人ならびに後援会もますます力をつけ、法人全体の力量を高めて維持・継続・発展させていかななくてはなりません。新たな気持ちで、また次の節目まで積み重ねてまいりたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会
会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

個人12名、法人1社から、ご入会、ご更新をいただきました。ありがとうございました。

★後援会へ寄附(敬称略)

個人1名の方からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

(以上、8/21~12/12集約分)
皆様 ありがとうございました。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附(敬称略)

個人4名、法人1社からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

～法人20周年記念事業推進協力金のご報告～

この度、20周年を迎えた法人に
皆様からたくさんのご寄附をいただきました。

106件 1,285,000円

利用者作品展・式典開催等の記念事業の経費に充当させていただきます。
後援会からもお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

information

社会福祉法人おおぞら会

職員募集

社会福祉法人おおぞら会では、私たちと一緒に事業を支えてくださる職員を募集しています。採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp/、または「ジョブメドレー」で検索してご確認ください。



障害がある人たちの日中の作業活動、放課後の遊び、グループホームの宿直夜勤、ガイドヘルプの派遣事務、高齢者のデイサービスや泊り…それぞれ活躍できる現場があります！

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部 0422-30-5571 (中野) まで

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つなぐなかまの家 (共同生活介護) | | |

法人が20周年を迎えた。私も、法人化を見越しての期待の新人(!)として法人化の前年に雇ってもらったので、20+1年を迎えたことになる。先日、法人で初めて「永年勤続表彰」を行い、勤続10年を迎えた職員をたたえる機会を設けた。私は二回りということもあり、逆に恥ずかしさもあり「そんな今さら祝われても…」などと言って、むしろ企画に消極的だった。しかし、自分とはもかく、当日実際に表彰式で勤続10年を迎えた職員たちが理事長に労いの言葉をかけてもらい誇らしそうに立つ姿は、とても凛として美しく、こちらも嬉しくなる光景だった。こういう機会は大事なんだな…と素直に思った。評価しあい、労いあい、一緒に頑張ろうと励ましあいながら、いい職場はつくられていくのだろう。

(いりくらあきこ)